



広げよう たすけあいの輪

# どりーまあ通信

● 第23号臨時増刊号 2010年 3月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆  
どりーまあサービス

〒770-0866  
徳島市末広2丁目1番80号  
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035  
U R L : <http://dreamer-service.org>  
E-mail : [npo@dreamer-service.org](mailto:npo@dreamer-service.org)  
発行責任者 山口 浩志



## 親子のふれあい クリスマスパーティー

主催：どりーまあクリスマスパーティー  
実行委員会



子供たちからの  
クリスマスプレゼント



理事長 山口 浩志

「どりーまあ」が訪問看護ステーションを始め  
てから早や6年目を迎えようとしています。立ち  
上げた当初は何もわからない中でのスタートで、  
かなり紆余曲折もありましたが、どんな時でも利  
用者様やご家族の方たちから温かいエールを送っ  
て下さってきたおかげで、これまで続けてこれた  
のだと、感謝の念に堪えません。

私たちが関わらせていただいている中に、小児  
看護で支援させていただいている子供さんたちが  
いらっしやいます。その方たちを「どりーまあ」  
へお招きして、昨年12月に「クリスマス集い」  
を開きました。

終わった後、参加して下さった方たちから、多  
くの喜びの声がたくさん寄せられ、ぜひご紹介さ  
せていただきたいと思い、この度《クリスマス特  
集号》を発刊するに至りました。

今回子供さんたちからいただいた感動のプレゼ  
ントを励みとし、これからもスタッフ一同力を合  
わせて、ますます頑張つてまいりますので、今後  
ともよろしくお願いいたします。



## 寄り添い

小児看護でかわらせていただいている子供さんやご家族をお招きしてのクリスマス会の様子をご紹介します。参加された方も、企画者側も互いに初めての経験でしたが、笑顔と感動あふれるひとときでした。今回の経験を機に、家族内の新しい絆や家族間のコミュニケーションが生まれたのではないかと感じております。

クリスマス会の招待状が届いたのは新型インフルエンザ流行で、行事や外出を控えていた時期でした。その後はクリスマス会に参加する〃を合言葉に体調安定に努めました。

当日は温かいお出迎えに始まり、趣向を凝らした楽しい会になりました。参加されたご家族、スタッフの方々など、皆さんが笑顔でした。思春期になり、姉弟として、弟にどう関わってよいか、このところ葛藤中の娘にとつても、娘なりに何かを感じた一日になったと思います。

病気や障害をもった子供たちが一歩外に出るには、様々な制限を伴います。社会との希薄さを感じ

## 微笑みと絆 ～姉から弟へ～



る時もあります。家族間の交流を通して情報を交換したり、不安や痛みを分かち合えたり、家族の想いを安心して受け入れる出会いの場を、今後もどリーマあさんが担っていただけたらと願っています。

最後になりましたが、ス

タッフの皆様、本当にありがとうございました。準備などで大変だったと思います。また細かいところまで心配りをいただき、お陰様で子供達はもちろん、私もゆったりと穏やかな一日を過ごさせていただきました。何よりのクリスマスプレゼントでした。



## 待ち望んだ一日！ 眼の笑顔いつまでも



今回、クリスマス会に参加させていただきありがとうございました。

今年は、体調を崩したこともあり、外出することがいつもより少なくなっていたところだったので、出かけるきっかけができたことにも感謝しています。

皆さんの出会の場、生演奏、歌ありりー

ス作り（これは私が夢中になりました）、そしてサンタさんの登場（この時は有希が寝てしまっていたのがとても残念です）など、盛り沢山の内容で、ほんとうに楽しい時間を過ごさせていただきました。最高！

仕事の合間、準備したりするのは大変だったことと思います。が、これからも、この



ような機会をつくっていただくことを願っております。これからもよろしくお願ひします。たくさん写真、ありがとうございました。



## サンタさんプレゼント ありがとう！





## 親子の ふれあい

### あうたは得意だよ！

昨年、海里が春から長期入院していた為、家族揃ってはお出掛けが今回のクリスマス会でした。お話をうかがった時からとても楽しかったです。たたくさんのご家族の方や海里を知らないスタッフの方々もいらつしゃるとい事で、人見知りの海里が大丈夫だろうかとかなり心配だったので、行ってみると誰よりも一番ご機嫌で歌って踊ってノリノリでした。もちろん海里だけではなく、兄弟たちも私達にとってとても楽しい時間でした。



### ぼくに まかせて

スタッフの方が一生懸命作りで開いて下さったクリスマス会は、まるで仲良しのお友達の家でのホームパーティーのように、あつたかく



てホッとできる場所でした。また、今年もどリーまあさんからの招待状を気の早い私たちは今から楽しみに待っています。

津田ファミリー

今回、初めてクリスマス会に参加させていただきました。久しぶりの家族揃っての外出となるので、この日が来るのをとても楽しみにしていました。

会場に着くと玄関のところ、サンタさんの服を着たワンちゃんや笑顔のスタッフの方が迎えてくれました。中に入ると楽しいクリスマス会の飾りつけがされていて、とてもにぎやかでした。にぎやかなのが好きな次男にとって、

## 生演奏に心はずむ

## お姉さんたちと歌って たのしいなあ



クリスマス会の歌の合唱や大学生の方たちの生演奏のあいさつの歌はとても嬉しかったと思います。また、クリスマスリース作りなどの工作も長男がとても喜んで取り組んでいました。

痰が多く、あまり体調の良くない中での参加でしたが、

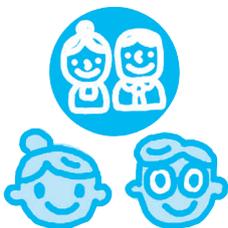
家族揃ってとても楽しく、安心していられたのは、スタッフのみなさんのおかげです。ありがとうございました。

またこういう機会があれば是非とも参加させていただきたいと思います。本当に楽しい一日になりました。





パパ & ママ  
 ありがとう



これからも  
 こんな日が  
 あったらいいなあ



私も娘も家で過ごす時間が多く、お出かけといえば病院か近所のお散歩程度だったので、子供たちをメインにした集まりに参加できたのがとても嬉しかったです。  
 クリスマス会以外でも気軽に参加できるイベントがあれば親同士、子供同士もいい刺激になって楽しいのではないかと思います。  
 これからも楽しいイベントに期待しています。





徳島文理大学音楽学部  
音楽学科音楽療法コース4年

堀 志織

私は小さい頃からクラシック音楽をしてきました。しかしコンサートホールに来れる人しか音楽を伝えられないのがすごくもどかしく、ホールに足を運べない人にこそ音楽のパワーを伝えたいと思うようになりました。音楽療法をしていくなかでたくさんの人と出会い、音楽で心をかよわせてきました。

今回どりーまあへボランテアに行かせていただくことになり、まずどうすればみなさんの空気に溶け込んで私達を受け入れていただけるかを考えました。ハローソングから始まり、まずはみんなが音楽にのせて自己紹介です。私達の不安は吹っ飛びまし

た。ほんとにみなさん暖かく、私達が勇気をいただきました。

年齢、性別、障がい、人にはそれぞれ特徴があります。しかし音楽はそんな特徴を一つに結び付け、ラポールを築くことができます。まだまだ未熟者の私達ですが、このような貴重な経験を大切に、立派な音楽療法士になりたいと思います。すばらしい機会をありがとうございました。



まず始めに、今回は貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

全く初めての場所、初対面の方々。私も堀さんも直前まで悩みました。大学で学ぶ音楽療法の要素を取り入れ、私達ならではのプログラムを計画するには、どうしたらいいのか。本当にこれで、受け入れてもらえるのか。正直、直前まで不安だらけでした。しかし、そんな私たちを、皆さんは私たちを温かく迎えて下さいました。

音楽は人々の生活に欠かせません。みなさんも、日常生活の中で知らず知らずのうちに音楽に助けられ、力を与え

られている事も多いのでは無いかと思います。

今回、短い時間でしたが、私達の音楽は楽しんでいただけましたでしょうか？温かい時間になりましたでしょうか？皆さんと過ごせた時間を私は忘れません。またどこかで出会える日を楽しみにしています。貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございました!!



徳島文理大学音楽学部  
音楽学科音楽療法コース4年

山脇未知代

# スタッフから子どもたちへ

どリーまあ初の「クリスマス会」に  
また職員的笑顔あふれる時間を共に過ごさせていただけたことが本当によかったです。  
来年も楽しみにしています。



松本 友紀

参加させていただき  
ました。音楽を聴いたり、ツリーの飾りつけをしたり、サンタクロースの登場もあったりと、感動あり、笑いありの一日でした。

## 感動あり、笑いありのクリスマス会



## 感謝

どリーまあ子供クリスマス会に出席して下さり有難うございました。とてもアットホームで、訪問時には見られない、ご家族との関わりを知ることができました。

## どリーまあ子供クリスマス会を開催して



関本 敦子

ました。また、このようなイベントを設

さいました。

ける機会の重要性も実感しました。私自身、元気を頂きました。今後も継続できるように努めたいと思います。最後に、提案、企画してくれたスタッフに感謝します。そのお陰で、看護が一致団結して準備ができ、無事に当日を迎えることができました。ご協力して頂いたスタッフの皆様、本当に有難うござ

## 寄り添い

子供は「お外が大好き。」家の中にはない刺激がいっぱい。暖かいお日さまの光、風のおいさ、いろいろな音も聞こえてきます。でも、吸引の必要があったり、お母さんひとりでの外出が大変だったり、感染の心配もあって…そんな子供たちが安心して遊びに来てくれる。いつ



高橋 憲恵

## 子供たちからの贈りものに感動する

もがんばっている、お父さん、お母さん、家族のみさんがリラックスして過ごしてくれる。そんな場所を作りたいの思いで、クリスマス会はできあがりしました。残念ながら、私は子供の病気のため欠席となりましたが、ご参加いただいた方々からのメッセージを讀ませていただき、意味のある会になったと安心し、さらに今後の取り組みのエネルギー源にもなりました。

## 感動

## 希望

以前より訪問させて頂いている子供達に、安心して楽しめる場所や機会が欲しいとの思いがスタッフみんなの中にありました。そんな時「子供達とクリスマス会をしませんか」との高橋さんの呼びかけをきっかけに、「お母さん達に交流を深めてもらおう」「兄弟の方も参加しても



小出 洋子

## 手づくりクリスマス会で心なごむ

らおう」など、それぞれの知恵と意思を出し合い、協力しながら準備が進みました。はじめてのクリスマス会は手作り感いっぱい、自己紹介から始まりおしゃべりにリース作りにと一緒に楽しむことができました。これからもこのような取り組みが続けられるような訪問看護ステーションでありたいと思います。